

日本共産党のアンケートより——  
吉川区の市議会議員に望むこと

1位	市民の声をよく聞いて 議会に届けてほしい	60.0%
2位	税金のムダづかいを チェックしてほしい	54.5%
3位	市政や議会の様子を 知らせてほしい	33.6%



懇談会で要望を真剣に聞く橋爪議員

吉川区の代表として3年——

# 橋爪のりかず の働きぶりは…

## 住民の声をよく聞く

住民みんなの思いを聞くために

**集落懇談会—100回以上開催**

**アンケートにもとづき現地調査も**

◆アンケートでよせられた声より

「いろいろなアンケートは市民の生の声を一番素直に聞くことができる、いい方法だと思います。」

◎「住民の意見・要望をよく取り上げ、現場にすぐ出向いて下さる活動に大変感謝します」

吉川区の願いを市議会であつたえ

**合併後の議会で毎回一般質問**

## 発言して 市政をチェック

**発言力は他の議員の1.6倍**

日本共産党は3人とも毎回発言

毎回の  
12回

**橋爪のりかず**

3年間の  
発言回数  
平均  
7.3回

日本共産党をのぞく  
45人の議員

吉川区を“情報過疎”にしない

**住民の目線でわかりやすく**

## 議会の様子 を知らせる

**「市政レポート」を毎週発行**

◆アンケートでよせられた声より

「市政レポートを読み、わたしも同じ考えだな、と共産党をおしたくと思えました。単純に、人がこまっていることをよくしよう、それでいいんです。」

「なぜ、よりによって共産党…」

**いえ、共産党だから、がんばれます**

私は、炭焼きと田んぼの、たいへん貧しい農家に生まれました。「両親は朝から晩まで働いているのに、なぜ楽にならないのか」とずっと思っていました。大学時代に、侵略戦争に反対した唯一の党であることを知り、この党がめざす、貧困のない、皆が幸せに暮らせる世の中になければと入党しました。だから、自民党の人であろうが、何党であろうが、わけへだてなく相談にのります。ふるさとの皆さんのためになんぼのことでも、日本共産党の議員として、一番大切な仕事なのです。

橋爪法一

橋爪のりかず後援会ニュース  
発行：日本共産党吉川区後援会  
2008年3月 No.10  
電話548-3628

部内資料

このニュースは、選挙前はもちろん、選挙期間中もみなさんにお届けすることができます。安心してお読みください。

党派をこえた、橋爪のりかず市議への応援メッセージありがとうございます。ございます。ひきつづいて、ご紹介します。

えらぶるところのない  
人柄が好きです

下中条 佐藤春代

議員活動が30年になるそうですね。長くやっ  
ていても、いつも一生懸命頑張る姿、えらぶると  
ころのない人柄が好きです。これから頑張つて  
ください。

いつも区民・市民のことを  
第一に考える人

代石 中嶋直美

吉川町議時代から市議になった今も区民・市民  
のことを第一に考え、私たちの声を行政にしっか  
り届けてくれる橋爪さんを応援しています。

上越市や吉川の魅力を  
文章に出来る人

上越映画鑑賞会会長 増村俊一(「プー横丁」店主)

橋爪さんの『春よ来い』『幸せめつけた』を全  
部読ませてもらいました。読むと、この上越の地  
に住んでいることの幸せを感じます。2冊の本か  
らは吉川や上越の魅力が伝わってきます。文化活  
動にも理解のあるすばらしい議員さんですので、  
ぜひまた議会に送り込んでいただきたいと思います。

「共産党らしからぬ」議員

市議会議員 山岸行則

ある時はきびしく、ある時はやさしく  
……橋爪さんの議会での発言は大きな影  
響力があります。場合によっては市長を  
ほめることもあって、「共産党らしから  
ぬ」議員だと思ふこともありました。文  
学を愛する人らしい豊かな人間性は保革  
のワクを超えて評価の声があがっていま  
す。ひきつづき、頑張ってください。

シリーズ「橋爪市議の3年間」

その② 評判よんだ「集落の実態調査」



合併により上越市は「日本  
最大の過疎地域」になりました。  
2年前の3月、橋爪議員  
は本会議場の壇上で、昭和60  
年頃の尾神岳を撮った大きな  
航空写真(上)を掲げていま  
した。同議員は尾神岳のふも  
とにある集落の実情を紹介  
し、「お年寄りの皆さんが多く  
なる中で道普請や集落の行事  
をやるにもたいそうで、集落  
機能を維持できなくなってい  
る。市長はこういう現状  
をどうとらえ、どうするか」  
と市長の見解を求めました。

これに対して市長は、「早急に実態を把握し、具体的な施策  
の検討につなげてまいりたい」と答弁。そして同年の秋から  
市役所の総力を挙げた「高齢化が進んだ集落における集落機  
能調査」が始まりました。

翌年、調査結果は報告書としてまとめられました。そこで  
は、「人情味あふれる人間関係や集落の祭りなどを大切にしつ  
つ、住み続けたい」とする人が多いこととともに、政府の農  
林業政策の失敗によって中山間地の集落が厳しい状況に追い  
込まれたことが明らかになりました。この自民党の農政とし  
つかりたたかえる人こそ、いま吉川に必要です。

この報告書は、過疎地、中山間地集落の本格的な実態調査  
として全国から注目されました。マスコミや地方自治の専門  
誌などはこの取り組みを「他の自治体も学ぶ必要がある」(ガ  
バナンス昨年3月号)と評価、上越市の取り組みは全国に広  
がりました。

橋爪議員は、この調査や自らの日常活動の経験をふまえて  
『山村集落再生の可能性』という本の執筆にも参加。中山間  
地だけでなく、平場を含めて農村集落の再生を願う人たちが  
この本を買い求めるほど評判になりました。

### 橋爪のりかずのお約束

あなたとともに明るく元気な吉川区を

○平場も中山間地も宝でいっぱい。中山間地  
を含む地域農業と集落の再生に全力をあ  
げます。

○吉川区内の情報を充実させるとともに、  
吉川区の魅力あふれた自然やくらしなど  
を大いにアピールします。

○若者が定着するまちづくりの推進。企業  
誘致と起業化支援をすすめます。

○吉川高校跡地や原之町商店街の空間を活  
用して賑わいをとりもどします。

○「ふるさと吉川」を見つめ、「吉川力」を高  
める。区外住民との交流を活発にします。

